

五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
地方創生推進交付金事業 平成30年度検証シート

シート No. 交付金活用事業

(3) 事業 No.	(4) 事業名	(5) 主担当課	(6) 交付金	(7) 実施状況	(8) 事業費 (決算額) 単位:千円	・交付金申請におけるKPI						(9) 次年度以降の事業計画について	(10) 数値目標・KPIの達成に向けた事業の改善点・方向性等	(11) 外部有識者の意見		
						指標	基準値 H28年度	指標値 H30年度	実績値 H30年度	達成状況	事業終了後における事業効果			評価	意見	
											評価					理由
30	五泉ニット製品開発事業(基礎)	商工観光課	基礎	H27年度に五泉ニット組合が実施する五泉ブランド化を支援。試作品の製作、イタリアでの評価、イタリア企業との仮調印を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。						交付金活用のH27単年度事業。 H28年度以降は「五泉ニット地域ブランド化事業」として継続支援。				
	五泉ニット製品開発事業(上乘せタイプII)		上乘せタイプII	H27年度に五泉ニット組合が実施する五泉ブランド化を支援。計画策定のため委員会を開催、視察研修を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。										
31	五泉ニット地域ブランド化事業(加速化)	商工観光課	加速化	平成28年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指す取組みに対して支援。品質基準を満たしたニット製品の開発、次世代を担う人材育成のための技術訓練を行い、事業終了。	—	平成28年度事業のため、平成29年度に検証済み。						交付金活用のH28単年度事業。 H29年度以降も継続支援。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の様々な取り組みや方向性は正しいと思われるが、KPI①実績値としては伸びが見られていないため、粘り強く継続した取り組みが必要と思われる。現在実施している様々な取り組みが成果として現れることを期待したい。</li> <li>アンケート調査を実施し、顧客の意識や意向について把握を行ってみてはどうか。(ニットフェスの際などに実施し、どうして知ったのか、どのぐらいの時期に開催してほしいか、などを問う)</li> <li>HPを改装しニットのネット販売がスタートしているが、消費者(購入希望者)や一般市民へ十分に浸透していないのではないかと。周知が必要と考えられる。</li> <li>SNSが情報発信には有効とされるが、『ロコミ』や『人ずて』も違った効果があると思われる。販売戦略の1つとしてみてはどうか。</li> <li>商品のタグ等にQRコードを入れてみてはどうか。(商品情報や販売企業などが確認できるように)</li> </ul>	<p>【意見・質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指標決定の考え方は何か。→生産額、雇用数ともにH26を基準に10%増加する計画とした。</li> <li>学生・生徒の工場見学は「人材育成」の一環になるのか。→子どものころから地場産業のニットに興味を持ってもらい、大人になっても思い出してもらいたいと考えている。</li> <li>ニット産業は海外にも進出し、世界の五泉とまで言われている。子どもたちには、五泉のニットは日本一だという誇りを持ってもらいたい。</li> </ul> <p>【KPI達成への有効性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有効であったと考える。</li> </ul>		
	五泉ニット地域ブランド化事業(推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	平成29年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指し、人材育成事業、地域活性化事業、市場・販路開拓事業及び広報・PR事業に対して支援した。	—	平成29年度事業のため、平成30年度に検証済み。										
	五泉ニット地域ブランド化事業(推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	平成30年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指し、人材育成事業、地域活性化事業、市場・販路開拓事業及び広報・PR事業に対して支援した。交付金申請におけるKPIは右のとおりとなった。	11,780	1. 産地でのニット生産額	118億円	124億円	116億円	未達成	C 効果があった。				1については未達成となったが、厳しいアパレル業界の中、実績値がH28年度から同額で推移していることは、事業の効果があったものと判断した。 2についても未達成となったが、H28基準値より微増しているため、事業の効果があったものと判断した。	交付金活用事業。 R1年度以降も五泉ニット工業協同組合への支援を継続し、国内外に認知される産地ブランド化の確立を目指す。 ①人材育成事業 ②地域活性化事業 ③市場・販路開拓事業 ④広報・PR事業
					2. ニット従業者の雇用数	635人	671人	640人	未達成							

五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
地方創生推進交付金事業 平成30年度検証シート

シート No. 交付金活用事業

(3) 事業 No.	(4) 事業名	(5) 主担当課	(6) 交付金	(7) 実施状況	(8) 事業費 (決算額) 単位:千円	・交付金申請におけるKPI						(9) 次年度以降の事業計画について	(10) 数値目標・KPIの達成に向けた事業の改善点・方向性等	(11) 外部有識者の意見		
						指標	基準値 H28年度	指標値 H30年度	実績値 H30年度	達成状況	事業終了後における事業効果			評価	意見	
											理由					
47	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (基礎)	商工観光課	基礎	・H27に五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。新商品2点の開発を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。						交付金活用のH27単年度事業。	<p>○The Gosen brand ごせん桜アロマ事業</p> <p>&lt;良い点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品の販売先(おいてもらう先)の開拓を実施</li> <li>咲花温泉 新津花水 弥彦桜の湯 新潟空港 メディアシップ 苗場プリンスホテル</li> <li>製品だけではなく原料の販売も行った。</li> <li>原料販売額:約40万円</li> <li>今年度の工房の売上額 4、5月2ヶ月で150万円を上向きに(前年度は年間で230万円)</li> </ul> <p>&lt;改善点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この施設や商品をPRするためには、メディアなどへの露出を増やすことが重要。インターネットやSNSでもっとPRしてはどうか。</li> </ul> <p>【意見・質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一連の商品は、五泉市民の認知度が低い。市民への周知を図ることにより、市民が販売員になってくれる。そうすれば自ずと市外にも広がるのではないか。</li> <li>桜うどんはH31に開発されたものであり、H30の検証シートにあると違和感を感じる。</li> <li>何を以て「C」評価と判断したのか</li> <li>一売上高と入込数は目標を達成できなかったが、2人の雇用を達成できたことを評価した。</li> <li>観光客入込数は五泉市全体の数字であり、この事業だけの評価とするのは乱暴ではないか。また、総売上高及び観光客入込数が未達成なのに全体評価が「達成」とするのはどうか。</li> <li>販売でいえば、この額では成り立たない。</li> <li>観光客減少の原因を「天候」にしたが、天候だけで20万人も観光客が減るのか。</li> <li>観光客入込数は、春の花シリーズが市全体の4割を占める。H30は、4月の桜まつりが悪天候で6万人減少した。チューリップやボタンも気象条件が悪かった。</li> </ul> <p>【KPI達成への有効性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有効だったと考える。ゼロからスタートしてここまで形にできたことは評価が高い。</li> <li>金融機関も全面的に協力して販路の拡大を図っている。</li> <li>ないところから始めて、実績が伸びていることは事実である。どこでもやっていない試みである。</li> <li>子どもたちにとっても五泉の魅力のひとつになる。</li> </ul>			
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (上乘せタイプⅡ)	商工観光課	上乘せタイプⅡ	・H27に五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。食品・化粧品原料としての品質・規格確立を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。						H28年度以降も継続支援。				
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (加速化)	商工観光課	加速化	・五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。機能性原料としての確立、特許取得を行い、事業終了。	—	平成28年度事業のため、平成29年度に検証済み。						交付金活用のH28単年度事業。				
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	・(一社)五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ事業に対する支援を行う。 ・市場調査、PR活動、学会等への出展 ・癒し効果の評価、抗腫瘍物質の確認実験、成分分析	—	平成29年度事業のため、平成30年度に検証済み。						交付金活用事業。 H30年度以降は、(一社)五泉市観光協会が指定管理者として運営する「ごせん桜アロマ工房」を活用しながら継続的に事業を推進する。				
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (拠点整備)	商工観光課	拠点整備	H28→H29の繰越事業 ・五泉市ごせん桜アロマ工房を建設。 施設概要:木造平屋建て鋼板葺き 1棟 床面積213.5㎡、低温真空乾燥室、冷蔵製造室、売店、事務室等	—	平成29年度事業のため、平成30年度に検証済み。						交付金活用事業。 H30年度以降は、(一社)五泉市観光協会が指定管理者となり、当該事業の拠点施設として工房を活用し事業の進捗を図る。				
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	交付金対象事業費 3,161千円 ○(一社)五泉市観光協会が実施分 ・桜摘み取り作業費 441千円・市場調査、PR活動、学会等への出展 612千円・成分分析、品質検査費 300千円・ヘルスツーリズムモデル事業 339千円 ○五泉市実施分 桜植栽費 1,469千円 交付金申請におけるKPIは下記のとおりとなった。	17,184	1. 桜アロマ機能性原料及び商品の総売上高	300千円	13,200千円	2,253千円	未達成	C 効果があつた。	交付金活用事業。 (一社)五泉市観光協会が指定管理者となり、当該事業の拠点施設として工房を活用し事業の進捗を図る。				
2. 桜アロマ事業化による雇用創出数	0人	2人	2人	達成												
3. 観光客入込数 (基準値H26)	742,008人	801,200人	507,771人	未達成												